

平成30年産 紀南の梅産地情報

2018/04/10

1. 今年の梅の開花は、1月末から2月にかけて低温が続いた影響で、主力の南高の満開は2月24日となり、平年より10日程度遅くなった。

開花期間中は暖かい日が続き、例年になく開花期間は短くなったが、授粉樹の小梅との開花はほぼ揃った。

現在の実肥りは、3月以降の高温の影響もあり、平年より10日程度早くなっている。



2. 4月6日の定点着果調査では、小梅の着果数は前年・平年より多かった。古城の着果数は前年よりやや少なく、平年よりやや多かった。

主力の南高の着果数は前年・平年並みであった。

但し、各品種とも園地間・樹体間による着果のバラツキが見られた。

定点調査の着果数（枝径2 $\frac{1}{2}$ の枝当たり）と着果率

品 種	平年 (H20~29)		平成29年		平成30年			
	着果率	着果数	着果率	着果数	着果率	着果数	平年比	前年比
小 梅	33.8%	129	33.5%	135	40.7%	182	141%	135%
古 城	10.6%	35	16.3%	48	9.3%	41	117%	85%
南 高	15.9%	50	20.4%	48	16.2%	51	102%	106%
在来系	15.5%	47	19.1%	74	12.9%	34	72%	46%

3. 今年産の作柄は、生理落果や果実肥大期の気象条件等に左右されるため、現時点で具体的な数量予測はできない。

生産見込量取りまとめの第一報は、今月中旬に予定している。

4. 結実後の気温は、3月に入り平年より高く推移している。降水量は中旬まではほぼ平年並となっているが、下旬は平年より少なくなっている。

月 旬	平均気温 °C				降水量 mm			
	30年	29年	28年	平年	30年	29年	28年	平年
3月上旬	11.2	8.8	11.9	10.1	55.5	19.5	61.5	60.9
3月中旬	12.3	9.2	11.0	10.8	47.0	8.0	76.0	42.9
3月下旬	13.2	10.2	11.5	11.4	21.0	32.0	7.5	40.5

南紀白浜気象データより（平年は白浜気象データ）